

# 上野総合市民病院だより



平成27年11月号(通刊第7号)  
企画:伊賀市立上野総合市民病院  
病院機能再開発センター  
発行:伊賀市立上野総合市民病院

## 『心不全の意外な症状 ～体重増加・むくみ・全身倦怠感について～』

晩秋の候、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

当院循環器内科では日々老若男女、様々な症状の方が受診されます。「心臓が悪い」と聞くと「胸の症状(たとえば痛みや圧迫感など)」ばかりに目が行きやすいですが、私がこれまで多くの患者さんを診させていただいてきて実感しているのが、心不全の症状として「体重増加」「易疲労感(疲れやすくなった)」「浮腫(主に足のむくみ)」が出現しているにも関わらず、それを放置してしまっていたり、または見過ごされている方が多くいるということです。「実は心臓が悪いですよ」ということをお伝えして、心不全の治療を開始しますと皆さん「信じられないくらい身体が軽くなりました」とか「呼吸するのも生きるのも楽になりました」とおっしゃられます。しかし、ひと言で『心不全』といいましても、その原因は十人十色、千差万別です。たとえば心臓の血管が狭くなるような病気(狭心症)が原因の方もいれば、心臓の弁に異常がある病気(弁膜症)による人もいれば、心臓の筋肉の病気(心筋症)が原因のひともいます。今、目の前で生じている一番苦しい『心不全』の症状が取れたら、次に大切なのがその原因精査ということになります。当院ではそのために、心電図・心エコーはもちろんのこと、心臓CT・心臓MRI・心臓カテーテル検査等必要な検査を駆使して原因解明ひいてはその後の治療方針に役立てております。また、循環器内科の疾患は高血圧・糖尿病・脂質異常症といった生活習慣病とも密接に関連しており、心疾患の予防という観点からもそれらの生活習慣病に対する介入も大切です。そちらも非常に多くの患者さんが来院されているため、各人にあった治療法の選択ならびに生活指導を心がけております。もしも上記のような御自身の身体の異変に気づきましたら、是非気軽に循環器内科を受診してみてください。しっかりと調べさせていただきますので、最善の選択を共に考えていきましょう。

循環器内科医長 宮田 和明

＜当院循環器内科:年度別受診患者数推移＞

|                    | 平成23年度        | 平成24年度        | 平成25年度        | 平成26年度        |
|--------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 循環器内科<br>(入院患者数)   | 0 (人)         | 362 (人)       | 2,045 (人)     | 3,113 (人)     |
| 循環器内科<br>(外来患者数)   | 1,384 (人)     | 3,415 (人)     | 4,216 (人)     | 4,203 (人)     |
| 心電図                | 5,010 (件)     | 6,280 (件)     | 7,132 (件)     | 7,611 (件)     |
| 心エコー               | 796 (件)       | 1,250 (件)     | 1,597 (件)     | 1,883 (件)     |
| ホルター心電図            | 66 (件)        | 123 (件)       | 157 (件)       | 150 (件)       |
| ペースメーカー<br>交換術／挿入術 | 0(件)<br>／1(件) | 5(件)<br>／2(件) | 4(件)<br>／5(件) | 4(件)<br>／6(件) |
| シャントPTA            | 30(件)         | 33(件)         | 36(件)         | 25(件)         |

## \* 伊賀・名張地区 呼吸器疾患講演会を開催しました

11月5日(木)に滋賀医科大学医学部附属病院 呼吸器外科教授 花岡 淳先生、助教 五十嵐 知之先生にお越しいただき、「伊賀・名張地区 呼吸器疾患講演会」を開催しました。

花岡先生からは、肺癌の手術法と成績を中心にご講演いただきました。特筆すべきは、ステージⅠ～Ⅱの非小細胞肺癌の患者さんの5年生存率が現在は70～80%台まで上昇しており、早期発見の重要性を再認識したことでした。伊賀地区からも多くの患者さんが手術の恩恵に浴しておられます。

また五十嵐先生からは市中肺炎、院内肺炎、医療・介護関連肺炎について、診断、治療の実際をご解説いただきました。特に抗生物質の選択法について、入院診療において非常に有益なお話をいただきました。



## \* 講演会のお知らせ

病院外部からのご参加も歓迎いたします。

### ●「伊賀・名張地区 学術講演会」

11月12日(木) 17:30～18:45 上野総合市民病院 西館1階会議室

#### 【講演】

『がん化学療法に対するGCSFによる支持療法 ～今後の展開について～』

伊賀市立上野総合市民病院 副院長 田中 基幹

#### 【特別講演】

『病院組織の再生と職員意識の覚醒』

高松市病院局 塩谷 泰一先生

## \* 当院がDPC準備病院になりました

当院は平成27年9月30日より「DPC準備病院」として厚生労働省の認定を受けました。

「DPC準備病院」とは、「DPC対象病院」になるためDPC制度の調査協力をし、データ提出を行っている病院です。一定の期間、調査協力をした後に準備病院から対象病院への申請をすることができます。いずれも厚生労働省が定める一定の基準を満たすことができれば、DPC対象病院・準備病院になることはできません。

当院では「DPC対象病院」認定に向け、業務内容の整備、施設の充実などに取り組んでいきたいと思っております。

## \* キャンサーボード(Cancer Board)の開催について

がん診療連携推進病院の指定を受けている当院では、毎月第1金曜日にキャンサーボードを開催しています。キャンサーボードとは、専門的な知識および技能を有する医師、画像診断、病理診断等を担当する医師やがん医療に携わる専門職等が職種を越えて集まり、がん患者の症状、状態および治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスです。

がん患者の状態に応じた適切な治療を提供することを目的として、定期的に行なっておりま

すので、地域の医療機関の皆様のご参加を歓迎いたします。

問い合わせは田中基幹副院長までお願いします。

## \* 中学生職場体験を実施しました

当院では毎年、中学生の職場体験学習を受け入れており、今年は9月16日～18日に阿山中学校、崇広中学校、10月27日～29日に上野南中学校から合計10名の生徒さんが来られました。

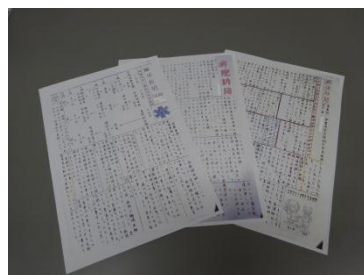
「医療現場や医療の職種に興味がある」「看護師になるのが夢」「入院していたときに先生が優しくかった」などの理由で、病院での職場体験を希望されたようです。

それぞれ3日間のプログラムを通して、院内で働く様々な職種についての役割と業務内容を説明し、体験していただきました。

後日、生徒さんから体験を基にした「職体新聞」が届きました。「普段見ている病院とは違う姿を見ることができた」「患者さん一人に対して病院全体で医療をしていることがわかった」「患者さんとのコミュニケーションが大事」「優しさと思いやりを持って仕事をしている方ばかりだと思った」などの感想が綴られていました。

今回の経験を通して感じていただけたことを、将来の進路に結び付けていただければ幸いです。

今後も積極的に職場体験の受け入れを実施していきたいと思います。



## \* 「患者さんの声」の掲示について

当院では、患者さんやご家族のみなさんから広く意見をいただき、病院改善に努めていくために、各階に「患者さんの声」箱を設置しています。お気づきの点がございましたら、遠慮なくご記入いただき投函ください。みなさんの病院に対する声をお待ちしています。

みなさんからいただいたご意見につきましては、当院1階ロビー入口付近に掲示させていただいています。またホームページにも掲載させていただいています。

